



# 月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043 (222) 7207 番

94. 8. 9 No. 4042



千葉地域集會



国鉄闘争勝利！  
館山地域集會

最悪で、出口の見えない  
長期不況がつづくなかでリスト  
ラという名の膨大な首切りと、  
権利剥脱の攻撃が労働者をしめ  
あげている。

## 九・一八労働者集會へ 闘う労働者の大同団結を 国鉄闘争勝利 侵略阻止

新聞では、毎日のように数百、  
数千の労働者の首切りや、工場  
閉鎖が伝えられている。

### 動労千葉への

### 熱い支援と 台流しよう

(7/13. 120名結集)  
地域の多くの仲間参加

人間である労働者が虫けらの  
ように首を切られ、身ぐるみは  
がされ、路頭にほり出されて  
いる。中には生きる気力すら奪  
われ自殺する労働者も多い。資  
本家は、景気のいいときでも労  
働者に低賃金と労働強化を押し

つけ「過労死」という社会的殺  
人を犯し、世界でも類を見ない  
状況を強制してきた。そして、  
いま不況になればそれをいいこ  
とに、当たり前のように、労働  
者を路頭に放り出している。ま  
さに労働者を人と思わない時代  
の到来だ！

危機と崩壊の中から登場した、  
村山首相は「人にやさしい政治」  
をキャチフレーズにしている。  
「耳ざわりのいい言葉には気を  
つける」だ。現実と全くかけ離  
れ、これほど労働者・民衆を愚  
弄した言葉は他に例を見ない。

ハッキリ言って労働者の中に  
「おれたちは人間だ」「人間を  
返せ」という悲痛ともいうべき  
叫びは日を追うごとに広がって  
いる。これに応えるのが労働運  
動の本来の姿であろう。

「九・一八集會」は、そうした  
意味をこめた重大なたたかいで  
ある。

### 成功をお教えるもの

「一貫して戦争屋(政府)と  
合理化攻撃に対して先頭に立つ  
て闘っている動労千葉に敬意を

表明し、同時に「日本の夜明け」  
をそこに期待しております。」  
「首切り合理化で生き延びよう  
とする資本。これと対決して闘  
う千葉動労のたたかいは改めて  
多くの労働者が見つめ、共闘さ  
れていくに違いない！」

これは協販部に寄せられた激  
文の一部である。こうした熱  
烈な期待と支援は、県下八ヶ所  
で開催した「地域集會」の中  
でも随所で体験できたし、自身と  
確信を深めてきたところである。  
参加者数合計六二〇名が「た  
たかう労働者の新しい潮流を」  
渴望し、その実現のために奮闘  
することを決意した。

この力は「四分五裂の連合」  
(読売)を必ず突き破る確かな  
胎動である。

今こそ闘う労働者の大同団結  
をつくりあげよう。

その先頭に動労千葉が立ちき  
るうではないか。

この闘いは清算事業団闘争を  
はじめとした国鉄闘争の勝利と、  
侵略戦争を阻止する力ずよい勢  
力を創りだすにちがいない。

### 九・一八集會へ。

### 予想を超える

### 反響アリ。

七月三十日、「九・一八集會」  
にむけての第一回実行委員会が  
四十一名の賛同人の結集でかち  
とられた。

「たたかう労働運動の  
新しい潮流めざす  
—— 9.18労働者集會」  
◎ 午後1時、東京都勤労福祉会館  
記念講演 岩井章氏(元総評事務局長)

それぞれの賛同人の中からは  
「安保、自衛隊、原発、日の丸  
・君が代等すべて容認する村山  
政権の登場に現場は本当に怒り  
不安がうずまいてる」「どう  
したらいいのか、誰しもが考え  
だしている。」といった真剣な  
報告が次つぎとおこなわれ「労  
働運動の大先輩である岩井章氏  
と今、先頭で闘いの旗をふる中  
野委員長がそろって呼びかける  
「九・一八」の意義は図り知れ  
ないものがある。首都圏一千名  
を集めきろう」と決意を固めき  
った。

これをうけて、すでに新小岩  
支部をはじめ役員・活動家は猛  
暑の中、関東一円のオルグに突  
入している。

全支部・全組合員は、職場・  
支部での討論をつくりだし、集  
会の大成功をつくりだそう。